

## 書塾の仲間たち

第 251 回

### なんぶ 南部塾（青森県南部町）



●書塾からひとこと●  
当塾は青森県の南東に位置する南部町で指導を行っています。塾名は、町名であり、南部藩発祥の地でもある「南部」から名付けました。塾生は小学生から一般まで、合わせて三十名ほどが稽古に励んでいます。現在は塾に直接通う塾生は少なくて、学校の部活動や通信指導を受けている方がほとんどです。

私は元々県立高校の教師として書道を担当していました。定年退職後に、近所の子どもたちに書を指導してほしいと依頼されたことが創塾のきっかけでした。指導にあたり、初めてテキスト選びから始めました。子どもたちには学習指導要領に準拠した、基本に忠実なものを、高校生以上には古典の臨書を中心としたものをと、多くの競書雑誌を取り寄せて検討した結果、理想的な雑誌として巡り合つたのが日本武道館の月刊「書写書道」誌でした。

小・中学生は毛筆に触れるだけではなく、日常生活の中での硬筆も含めた書写能力を高めること、高校・大学生は書の歴史に触れながら各種展覧会にチャレンジして作品制作に取り組むこと、一般会員は書を楽しむための基礎力を高めることをそれぞれの目標にして学んでもらっています。

「この字はいいな」とか「この作品はすてきだな」と感じられるような日常生活を送り、生涯にわたって「書」を愛好する気持ちを持ち続けてほしい、というのが南部塾の願いであります。塾を始めてから、既に十年を超える月日が経ちました。これからも塾生たちの力となるよう、指導に努めてまいります。

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。  
南部塾 米田 巧

私が習字を始めたきっかけは、小さい頃、いつも手紙や絵をかいて遊んでいたら、お母さんに「字が上手だから習字を習つたらどうか」とすすめられたことでした。私はもっと字が上手に書けるようになりたいと思い、家族にはめられたことがうれしくて、習字を始めることにしました。習字を始めて良かったことは、学校の先生や友達にはめられたり、たくさん賞をもらえたことです。他にも、漢字を早く正確に覚えることができました。えんぴつの持ち方も持ちやすい高さや、指の置き方などを先生に教えてもらって、きちんと持てるようになりました。また、月刊「書写書道」誌を見た時に、級が上がっていると、とても嬉しい気持ちになります。今まで上手に書けなかつた字が、たくさん練習して書けるようになった時や、お母さんと一緒に筆でいろいろな書体を使い、字や絵をかいている時は楽しいと感じます。また、テレビで書道パフォーマンスを見た時は、学生たちのチームワークに感動しました。音楽に合わせて筆を走らせ楽しそうに書いている姿を見ていると、私も楽しくなりました。

お稽古を続ける中で、歴史ある日本の文化を大切にしながら、新しい書道のかたちも取り入れていけたらいいなと思うようになりました。取り組む時の姿勢を意識して気持ちを集中し、正しく美しい字が書けるようがんばりながら、これからは、自己表現もしてみたいと思います。

今までは、バランスよく字が書けなかったり、筆の使い方が思うようにいかない時もありました。集中しながら、楽しんで字を書くことが今後の目標です。

習字が好きになりました

東京都羽村市立羽村西小学校六年 川井 莉里花

かわい  
りりか  
莉里花



## 私と書写書道 第251回

これからも書道が楽しめるように

広島県熊野町立熊野東中学校三年 中原 悠成

なかばら  
ゆうせい  
中原 悠成



僕は「将来必ず役に立つから、書道を習つて字をうまく書けるようになります」という母のすすめで、小学校三年生の時に書道を習い始めました。だんだん書くことが楽しくなり、自分でも少しずつ上達を感じられるようになりました。それでも先生は最後まで僕の作品を見て、良いところと改善すべきところを教えてくれました。自分の作品が良くなっていることがわかり、とても嬉しくなりました。

中学生になつて新たに行書を習い始めました。最初は柔らかい筆跡で書くコツを見つけることがとても大変でした。少しずつ行書に慣れてきて上手に書けるようになると、毎週、書道教室に通う事が楽しくなってきました。

僕は、今年受験生なので、しばらくの間、書道教室には通えません。けれど、高校生活に慣れて、時間に余裕ができたあまた通い始めたいと考えています。その時に頑張りたいことがあります。僕は妹二人と一緒に書道を習っているのですが、妹たちは大会でたくさんの賞をもらっていて、一番年上の兄としてとても悔しく感じています。二人に負けないぐらい自分も上手になつて、賞を取れるようになれたら、もっと書道が楽しくなると思います。

受験が終わるまで筆を握る機会がほとんどありませんでしたが、高校に入学してからも一般の人たちに負けないように頑張りたいです。そして、いつも自分を支えてくれている家族や、丁寧に教えてくださる先生、たくさんお世話になつた人たちに、しっかりと感謝を伝えたいです。